

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2022年12月号



千葉県勤労者山岳連盟



Chiba Workers Alpine Federation

2022年12月 1日発行 通巻356号

無事故で年末・年始の山行を楽しもう！

＜山行計画書作成・提出は安全登山の第一歩＞

1 2月号目次

・ 目 次	2
・ 1 1月理事会報告	3
・ 山行報告 苗場山（市川山の会）	8
・ 山行報告 関東ふれあいの道（東葛山の会）	11
・ 集会報告 第18回全国登山研究集会	13
・ 集会報告 事故防止・経験交流集会（教育遭難対策委員会）	18
・ 集会報告 オンライン集会参加で感じたこと3題	20
・ 2022オンライン講習会開催のお知らせ（教育遭難対策委員会）	22
・ 第4回オンライン講習会開催案内	23
・ 2023房総ロングハイキング開催案内	24
・ 月刊誌：登山時報は何处へ行く…？	25
・ 12月・1月予定表	26

<閑話休題>

『弁当屋:登利平をご存じですか?』を、p.10 に紹介しています。

『山行報告』や『集会報告』の投稿をお待ちしています！

その際の『書式』は、可能な限り次の通りでお願いします。

ワード、A4、横書き、MS 明朝、12 ポイント、余白:上下左右各 25mm

『表紙用写真』も募集しています！（写真説明を添えてください）

毎月 20 日頃を目処にメールでお送り願います。

<送付先> 機関誌委員会 廣木國昭委員長 danphiro@jcom.zaq.ne.jp

<表紙写真説明>

2015年5月21日～26日の6日間で、台湾最高峰『玉山（3,952m）』に高山病にも負けずに全員が登頂しました。途中の『排雲山荘（3,402m）』に泊り、翌朝未明に登り始め、山頂でご来光を迎えることができました。

写真は、無事下山し登山口まで戻ってきてホッとしている東葛山の会10名と特別ゲスト1名の総勢11名に、現地ガイドの黄さんです。

下山後は、首都：台北の北にある『新北投温泉』で日本の温泉ホテルと全く同じ感じの宿でくつろぎ、その後は、台北近郊の観光地（野柳、基隆、九份、十分）や台北市内（龍山寺、故宮博物館、中正紀念堂、士林観光夜市など）を見学しました。十分では、列車の通過の合間に『天燈揚げ』もしましたよ！

昼食や夕食では、台湾ビール『金牌』を飲みながら現地のグルメを味わうことのできた至福の6日間でした。（今年2022年は、主に東葛山の会の海外登山関連写真をシリーズで掲載してきました。）（安彦秀夫：海外委員会）

千葉県勤労者山岳連盟 2022年 11月 理事会議事録

議事録作成者：千葉民医連山を歩こう会 戸石衛

日 時 2022年11月17日（木）

場 所 オンライン会議 19:00～20:50

参加者：21名（理事15名、役員6名）

県連理事		×	松宮（市川）	○	廣川（君津）	○	吉武（かがりび）
○	深草（あびこ）	○	藺田（ちば）	○	西岡（ちば）	○	五木田（こまくさ）
○	羽鳥（東葛）	○	酒井（船橋）	○	田中（ふわく）	○	今井（茂原）
○	渡邊（松戸）		西村（まつど遠足）	○	小林（山翠会）	○	豊田（らんたん）
×	佐藤（らんたん）	○	戸石（民医連）	○	荒井（岳樺）		
県連役員		○	広木（会長）	○	野田（理事長）	○	鶴田（副理事長）
○	菅井（自然保護）	○	伊東（教遭）	○	安彦（海外）		
全国連役員		×	石川（副理事長）	×	山本（理事）		

○：出席、×：欠席 理事と役員兼務の場合は理事の方に記載

議 事

1. 理事長挨拶（野田理事長）

新型コロナが再拡大し第8波を懸念する。県連活動の年度末(12月末)に向けて、委員会等においては「活動のまとめ」などの準備を乞う。

2. 役員会報告（広木会長）

11月3日（木）14:00～16:20 オンラインにて実施。 下記議事等を討議した。

- ・ 来年3月実施の「合同会議」の計画について
- ・ 全国連および県連行事参加時の経費扱いについて
- ・ 関東ブロック自然保護担当者会議の実施について
- ・ 房総の山復興PJ会議の報告および今後の対応について

2. 各委員会報告

1) 会計（小林役員）

10月末時点で、全会からの「連盟費」納入を確認した。

2) 教育遭難対策委員会（伊東委員長）

11/5（土）に、「事故防止・経験交流集会」を開催。 10会23名参加。

2022年度事故11件の総括、事例検証（2022年1月発生の八ヶ岳遭難事故）、
「登山リーダーマニュアル（登山リーダーのなすべき仕事とポイント）」（ちば山の会）の紹介、コンパスシステム（インターネット利用の山行管理）の紹介と効用の評価、山筋ゴーゴー体操の実技、グループディスカッションの実施など。
ちばニュース12月号に実施報告を掲載予定

※ 理事より「登山リーダーマニュアル」の提供要望があり、当該山岳会の了承を得、配布することとした。

3) 自然保護委員会（菅井委員長）

11/26（土）14:00-17:50に、「関東ブロック自然保護担当者会議」をオンラインにて開催予定（千葉県連12名他、6地方連盟9名および全国担当理事1名）。各連盟の活動報告（別途各理事等に送付する）をもとに意見交換等を計画。千葉県連は下記について報告する。

- ・ 千葉県の地理・地質の紹介とその特性による問題や課題
- ・ 活動紹介（迫原ダム建設, 鬼泪山山砂採取, 鴨川メガソーラ建設等の反対運動）
- ・ クリーンハイク活動に関する現状報告（各会の活動を含む）
- ・ 房総の山復興PJの活動報告および委員会の関わりなど

4) ハイキング委員会（田中委員長）

11/23（水）に、委員で「関東ふれあいの道No.8」を歩き、「2023年1/27-28のロングハイク」のコースにするかどうかなどの計画の詳細を詰める予定。

5) 組織委員会（野田委員長）

報告事項なし

6) 女性委員会（広木委員長）

12/22（木）開催予定のオンライン講習会に向け講師と打ち合わせ中。更に続編として、2023年1月に実技講習の開催に向けて検討中。そのためにも、各会の女性委員の確認および選出を乞う。

7) 海外委員会（安彦委員長）

- ① 12/8（木）19:00-21:00に、委員会をオンラインにて開催予定
- ② ちばニュース12月号の表紙用写真募集中（海外トレッキング関連写真）

8) 機関紙委員会（広木委員長）

3/初旬の合同会議に向け「ちばニュース」に関するアンケート調査を計画。ここ3ヶ月ほど安彦氏に「ちばニュース」の編集・発行を頼んでいる。

4. 役員会からの連絡（野田理事長）

1) 2023年合同会議について

58期合同会議を下記要綱で開催する。

日程：2023年3月4日（土）13:00～15:00（オンライン会議）

内容：活動方針（変更がある場合のみ）の報告、会計報告、監査報告

「会計監査」選任を予定しているので、各会からの協力を乞う。

2) 全国連（関ブロ等を含む）および県連行事参加への費用補助についての確認支給の対象範囲と対象者は、次の通りです（原則）。

- ・ 全国連主催の行事（総会、委員会、講習会等）の参加者
 - ・ 県連主催の行事の主催者
- 従って、県連行事への参加者については県連からの費用補助はない。
尚、全国連主催行事参加への費用補助は、成果の還元を目的としているので、「ちばニュース」などへの報告を求めている。

※ 理事より、関ブロ主催の「雪崩事故を防ぐための講習会」や「自然保護担当者会議」への参加に関し、支給対象の有無や支給金額等について質問があり。役員会より、両者とも該当するが、後者はオンライン会議であり費用発生はないものと認識する。支給金額は役員会にて開催要項や参加状況等を鑑みて判断することになるので、この場では提示できない旨が回答され了解された。

3) 房総の山復興PJの活動報告（10月31日PJでの協議事項）

- ① 山の日イベントの収支は、黒字決済で、登山道復興の用具購入に充てる。
（原則、来年2023年3月末までに消化）
- ② 山岳3団体共同で警察などに「登山計画書」受け入れ先設置を要請する。
（現在、千葉県では登山計画書の受け入れ先はない）
- ③ 山岳3団体共同で、未組織登山者を対象にした「初心者講習会」などの実施検討の提案があり、検討課題とした。

◆会長より

労山の今後の活動として登山道復興にどのように関わっていくのか、千葉県山岳スポーツライミング協会は常時活動しているが労山はどうするか。
PJでは、3団体共同で活動をするか、各団体に任せるかなどを論議している。
労山として活動に参加するにしても、地理的条件、体力などの条件、経済的条件などの課題がある。活動の在り方などについて各会での検討を乞う。

5. 全国連からの情報展開（野田理事長）

1) 全国連来年度のカレンダー申込案内について

発注は、各会それぞれで全国連へ直接申し込み、その情報を深草理事（岳人あびこ）にも連絡する。代金（1,000円/部）は12月理事会の中で会長が徴収する。

◆会長より

カレンダーは全国連から各会に直送される。送料は、注文数の多少に係わらず初回分は県連が負担し、2回目以降は各会が負担する。従って、何度かに分けて注文すると、各会の負担が増えることになるので、極力まとめた発注をお願いします。尚、初回分の送料負担金は、県連のカレンダー収益から充当する。

2) 第30回関東ブロック「雪崩事故を防ぐための講習会」

日程	2023年1月21日（土）9:00～	22日（日）14:00
場所	谷川岳天神平及び白毛門登山口・土合山の家周辺	
締切	2022年12月31日	参加者 2名（岳人あびこ）の予定

3) 全国評議会

2023年2月18日(土)～19日(日)府中で開催
評議員(千葉県連は1名)として理事長が参加する。
傍聴の可否については確認する。

4) 各会会員数の報告依頼

全国連への報告期限は12/25。

「11月末現在での男女別の会員数」を12月理事会までに理事長に報告する。
この会員数により2023年度の全国連および県連の連盟費が決定される。
年度途中での会員数の変更(連盟費の減額など)は認められないので、各会に
於いては、2023年度の会員推移を予測して会員数を報告してください。

5) 来年の労山カレンダー誤植の訂正の連絡

P10、P25 (誤) 千ノ倉山 ⇒ (正) 仙ノ倉山

6. 各会理事からの活動状況報告

1) かがりび山の会

コロナ禍の影響により、個人山行が増え、中でも単独山行が多くなり、山行管理が大変になっている。

ホームページの充実に伴い会報誌の必要性が薄れ、会員からの「廃刊もあり」の声が聞かれる中、会報誌の在り方が課題となっている。

発行状況は、年4回、メール配付、担当者1名。 他会の状況をお聞きしたい。

【東葛】 毎月発行、ホームページ(会員の部屋)に掲載(コロナ禍を機に紙媒体の発行・配布を廃止)。会報部(数名)で編集している

【ちば山】 数年前に廃刊、山行報告(記録)は「ヤママップ」に投稿し会員にURLをメール配信(会員以外も閲覧可能)

【船山】 2ヶ月に1回(4年前から)、メール配付、担当は広報部員1名

【松戸】 2年程前よりホームページ(会員サイト)にも情報を載せているため、会報との重複から、会報の在り方が課題となっている。

【こまくさ】 毎月1回、印刷して定例会で手渡し、会報の情報はホームページにも掲載している。但し、参加申込などの山行要綱は会報に掲載。

【あびこ】 毎月、メール配付、隔年で小冊子を発行している。

【ふわく】 印刷して配付

2) 岳人あびこ

コロナ禍の下火状況により、対面での定例会の開催、山行も予定通りに実施。

全会員参加の新人歓迎山行の実施。12月の忘年山行も実施予定。

新たに始めた活動として、コロナ禍で山行から遠ざかった人や体力の衰えた人向けに健康維持を目的に近隣の低山などを巡る「どんぐり散歩」や「ゆるゆる山行」を実施。 2023/1/8に手賀沼クリーンハイクを計画。

3) ちば山の会

毎週 20 件ほどの個人山行と毎月の定例山行の他、前年度入会者が幹事となり実施する新人歓迎山行、中秋山行、忘年山行を実施（または予定）。

参加者の車を利用しての山行が多く、ガソリン代や高速代とは別に、車両提供者を除いた参加者が 7 円/km を車代として車両提供者に渡しているが、設定価格が相応なのか判断に迷っている。 他会の状況をお聞きしたい。

【かがりび】 20 円/km（車両提供代）、冬季は別途洗車代として 2,000 円

【船山】 車両規定あり。10 円/km（償却費）+10 円/km（ガソリン代）。
尚、2~3 名での山行では参加者の判断を黙認。

【こまくさ】 個人車両の利用は原則禁止。

【東葛】 個人車両の利用は原則禁止の方向で検討中。現行では、車用使用料は 15 円/km とし、燃料代・高速代・駐車料などは参加者で均等負担。

4) 千葉こまくさハイキングクラブ

従来通り（コロナ禍以前）の山行を実施（年度初めに 180 件の山行を計画）。

個人山行も会が管理（会山行の 1.5 倍ほど）。

新入会員の多くがホームページによることから、その強化に取り組んでいる。

中心メンバーの高齢化による役員交代の人選（なり手がいない）が課題なので、他会の状況をお聞きしたい。

【らんたん】 名簿の順に、役員を割り当てている。 任期は 2 年

【ちば山】 今年度から会員歴の長い人から役員を割り当てている（70 歳以上の会員を除く）。 任期 1 年としているため、運営の継続が課題となり、見直しの意見もある。

7. 全国連理事からの連絡・情報提供等

石川昌副理事長、山本尚徳理事の両名欠席のため割愛

8. 今年の県連オンライン講習会の計画について（伊東）

① 10/27 第 2 回オンライン講習会実施

テーマ：ネパール・ピザンピーク登山報告（講師：酒井莊多氏/船山）

14 名が参加。資料は県連 HP に掲載

② 11/24 第 3 回オンライン講習会開催予定

テーマ：ココヘリの紹介（講師はココヘリの担当者）

12 名が参加予定（申込は 11/17 まで）

ココヘリが jR0(ジロー)を子会社化し保険と統合したプランの提供を開始。

労山遭難対策基金を念頭に説明を聞く予定。

9. その他協議・連絡事項

12 月理事会は、船橋西部公民館で開催。 労山カレンダー代金徴収します。

以上

秋色の苗場山山行報告

市川山の会 松宮 俊一

10月8日（1日目）

参加者は18名（女性10名、男性8名）。バスは西船橋を出発し、外環道・関越道を順調に走り越後湯沢駅をめざした。車中で苗場山が入っている「日本百名山」の映像を流し事前学習。

出発時は晴れていたのに関越トンネルを抜けると雨が降っていて、慌てて雨具等を準備した。越後湯沢駅で苗場山に登る11人（女性6人、男性5人）が下車。タクシーに分乗し祓川登山口に向かった。スロー組はバスで南魚沼市の坂戸山と八海山をめざした。

登山口で準備体操をした後、簡易舗装の道を歩き和田小屋に向かった。11時到着。雨が止まないのので休業中の和田小屋の階段で昼食を摂った。

11時33分出発。スキー場のゲレンデから登山道に入るとブナやダケカンバ、ナナカマドが赤や黄色に色づき、オオカメノキには真っ赤な実がなっていた。雨はしとしとと降り続き、水が流れる登山道は道というよりは沢状態。初めは水を避けて歩いていたが、次第に水の中を歩くようになった。まるで沢登りをしているようだった。

13時33分下ノ芝到着。ベンチが濡れていたのので立ったまま休憩。沢の向こうの山肌は赤や黄色、オレンジなどに色づき始めていた。下ノ芝からも石がごろごろの沢状態の登山道が続いた。14時43分中ノ芝到着。テラスのようにベンチが設けられていた。周りは草紅葉の黄色とドウダンツツジの鮮やかな赤が美しく、写真を何枚も撮った。

上ノ芝、小松原分岐、股すり岩と歩き神楽ヶ峰に向かった。神楽ヶ峰の手前の鈴木牧之の顕彰碑が雪のせいか倒れていた。神楽ヶ峰に着くと雨も上がり時おり青空ものぞいたが、前方にあるはずの苗場山は見えなかった。

神楽ヶ峰からは苗場山との鞍部まで狭くて石ごろごろの下り道。滑らないように注意しながら歩いた。雷清水、お花畑を過ぎうっすら見える苗場山の登りに差しかかった。やせ尾根の雲居坂の急登を木や岩につかまりながら登った。東の方角を見ると、長く伸びる雲が夕日で赤く染まっていて美しかった。急登を登りきると苗場山の頂上湿原に出た。夕闇が迫る広大な頂上湿原に木道が伸び、その先に山小屋の屋根も見える。はやる気持ちを抑え、濡れた木道を慎重に歩いた。17時30分山小屋着。標準コースタイムの約1.5倍。約6時間もかかった。

お楽しみの夕食はビールとカレーライスと山盛りのポテトサラダ。ポテトサラダが美味しくけっこうお代わりをした。夕食後小屋の外に出て夜空を見上げると、十三夜の月と木星が煌々と輝いていた。東の方角の遥か下方には前橋・

高崎方面の夜景も望めた。木道は既に凍り始めていた。8時消灯。1人1枚の布団でゆっくりとやすむことができた。

10月9日(2日目)

朝5時に起き準備。防寒対策には万全を期した。6時30分、登山靴に滑り止めを装着して山頂に向かった。5分で到着し記念撮影。苗場山の山頂は樹木に囲まれた展望のない平坦な所だ。下りの歩行時間を考慮して湿原散策は止め、展望台から眺めることにした。東から西に霧が流れる中に無数の池塘が点在する草紅葉の傾斜湿原が広がり、はるか遠く南西の雲上には槍・穂高連峰もはっきりと望めた。



碓氷川登山口13時の到着をめざして7時下山開始。リンドウと稲のように茂って苗場山の名前の由来となったミヤマホタルイの黄葉を観察した。池塘には薄氷も張っていた。山頂の気温は昨夜0度を下回ったようだ。

苗場山から雲居坂を下り始めると、急に霧が晴れ展望が開けた。神楽ヶ峰をはじめとする周りの山々や遠く新潟の山々、魚沼盆地の街並みも望めた。

雨が上がったため登山道は昨日より歩き易かったが、朝が早いのに登りの登山者が多く、挨拶を交わしたり道を譲ったりで意外と時間がかかった。若者やカップルが多かったが、小さい子供を連れた家族連れにも出会った。よくこんな大変な道を登ってきたなと感心した。日帰りの登山者が多いようだ。



9時47分中ノ芝着。ドウダンツツジや草紅葉がきれいなので全員で記念撮影。中ノ芝からもごろごろした石の多い急な道が続いた。下ノ芝では十数人の高齢

者の団体が昼食を摂っていた。親しみを覚えリーダーと言葉を交わした。リーダー以外はすべて女性だった。

12時30分登山口到着。和田小屋の前で靴を洗って、祓川登山口まで歩き昼食にした。13時30分。脚を痛めて遅れた人も含めて全員が無事に到着し、タクシーに分乗して越後湯沢駅に急いだ。先に到着していたスロー組と合流し、ハッカ石温泉へ向かった。

ハッカ石温泉は大きな湯船や打たせ湯、薬湯湯、展望露天風呂などがあり、ゆっくりと入ることができた。途中のコンビニで夕食や飲み物を買って、車中で全員の無事下山を祝って乾杯。バスは一路西船橋へ向かった。3連休中の中日だったが高速道路が予想外に渋滞していて、西船橋に着いたのが20時を過ぎていた。

1日目の雨でみんな悪戦苦闘。登り下りとも時間がかかったが、全員無事に苗場山に登頂でき、そして全員無事に下山出来たことが何より良かった。



<閑話休題> 弁当屋『登利平』をご存じですか？

群馬県前橋市を本社とする老舗弁当屋で、今年、設立50周年記念ということで、ドラマ『上州登利平 タレを守り続けた50年』を、映画『影踏み』の篠原哲雄監督のメガホンで、11月12日にクランインし、前橋市の登利平本社や中之条町の民家等で撮影が行われています。

私の住む野田市には『キッコーマン』ゆかりの由緒ある建物が点在しており、この『登利平』の創業当時の面影をイメージさせる…ということで、11月18日(金)にロケが行われました。

昨年2021年3月に入会したボランティア団体『むらさきの里 野田ガイドの会』の仲間と一緒に、私もエキストラで参加しました。

場所は『興風会館』の大ホールで、『社長夫妻が結婚する前の映画館でのデートシーン』という設定で、映画を見ている主人公2人の斜め後ろの席の観客として参加しました。また、ロビーでの待ち合わせのシーンは、何度も何度もリハーサルを繰り返しました。

2つのシーンは、恐らく1~2分ほどではないでしょうか？ 完成が待ちどおしいです。この短い時間のために、2時間以上もリハーサルを繰り返しました。

午後は、『野田市市民会館(醤油醸造家:茂木佐平治邸として大正13年建築)』で夜遅くまで行われたようです。ドラマ製作の裏を垣間見た貴重なひと時でした。(編集子)

九十九里の砂をふみしめて歩くみち「東浪見^{とらみ}～長者町」ウォーキング

東葛山の会 羽鳥健一郎

日時：2022年10月23日(日) 晴

参加者：18名(女子14名、男子4名) 平均年齢73歳

行程

JR 外房線 東浪見(とらみ) 駅集合 8:05

出発 8:30…釣ヶ埼海岸 9:25…太東漁港…雀島…太東埼灯台(昼食) 11:50

…太東海浜植物群…江東橋…長者町駅 14:50

歩行距離 11.9 km コースタイム 約6時間20分(休憩含む)

(帰り) JR 外房線長者町 15:26—上総一宮—蘇我—船橋—鎌ヶ谷 17:15

東葛山の会では、かつて「周年行事の一環として房総半島を一周した」と先輩方から聞いておりました。しかしながら現在の会員は、千葉県に住みながら房総の山に登ったり房総半島を歩くことが少ないのではないかと思います。一方でコロナの影響と高齢化で近場のウォーキングも増えております。

今回は、10月の会山行のウォーキングとして房総半島を選びました。参加人数が多かったので3班に分かれて小春日和の中、外房の海岸線を歩きました。東葛山の会は現在53名ですが、最近の参加者は女子が6~7割を占めています。

釣ヶ埼海岸は、昨年の東京オリンピックのサーフィン会場となった場所です。当日は秋晴れで日曜日のため多くのサーファーが海に入っていました。サーファーを見ながら潮風を浴びて砂浜を歩きました。



太東漁港までの約1時間は、九十九里の砂を踏みしめて歩くみちでした。港の駐車場はサーファーの車で満杯でしたが、港は人気もなくひっそりでした。



港の直ぐそばの高台に登ると(当日一番の急登)、それまで歩いてきた海岸線の全容を遠くまで見渡すことができ良い眺めでした。高台を下りてその後の太東埼の海岸は、九十九里の砂浜とは対照的な荒々しい海岸が続きました。伊勢の二見が浦の夫婦岩に似た大きな岩に波が打ち寄せる景観は、今回のコースのビューポイントの一つでした。



その後、長閑な集落を抜けて、12時頃に太東埼灯台に到着しお昼となりました。無人の小さな灯台ですが、岬からの太平洋を眺めると水平線が広がり地球が丸いことを実感できました。地元のボランティアの方々が、休日には、お茶をサービスしたり灯台周辺の美化に尽力していました。

灯台を下り夷隅川に架かる江東橋のたもとまで歩き、後はラストスパートです。千葉県の本の木でもあるマキの生垣が続く長者町の街中をのんびり歩き、15時前には JR 長者町駅に着きました。

第18回 全国登山研究集会 参加報告書

報告者 野田久生（かがりび山の会）、田中康男（ふわくハイキングサークル）
羽鳥健一郎（東葛山の会）、山本久美子（かがりび山の会）

日時 2022年10月29日（土）～30日（日）

場所 ホテルコンチネンタル府中 会議室

参加者 全国の登山会員 81人 + 特別講師 伊藤圭氏

研究集会の目的

登山技術、安全登山、平和と登山、登山文化の継承、自然保護等の問題を議論し、登山の運動、組織の発展につなげる。（浦添会長の挨拶より）

日程表 29日（土）

13:00～ 開会、挨拶 会長 浦添嘉徳

13:10～ 基調報告 理事長 川嶋高志

13:35～ 記念講演

「山と人と街プロジェクト」

伊藤新道の復活

講師：伊藤圭氏

15:30～ 各分科会に分かれて討議

第1分科会 山小屋の諸問題

第2分科会 登山道と遭難対策

第3分科会 岩場のマナーとアクセス問題

第4分科会 魅惑のトレイル その楽しみ方

19:00～22:00 夕食・交流会

30日（日）

8:30～ 全会会議 各分科会の報告

9:30 終了

オプション

A:高尾山での読図体験、スマホアプリ YAMAP の使い方（田中、山本参加）

B:読図体験はAに合流

C:室内ジムでの注意点 PUMP2KAWASAKI でのクライミング体験



第1回は52年前に開催されたが、途中しばらく開催されていなかった。コロナで開催できなかったこともあり、今回ようやく開催された（全国連）。県連からの4人は、初めての参加でしたが、内容のある交流集会でした。

<参加報告>

1. 記念講演 「山と人と街プロジェクト」 伊藤新道の復活 伊藤圭 氏

ご存じの方も多いと思いますが、黒部の山奥の三俣山荘と、伊藤新道復活の現状とこれからの活動をPP（パワーポイント）で説明して頂きました。資料は公開されていませんので少し撮った写真を付け加えます。

・趣旨（伊藤氏）

- 1) 伊藤新道は、湯俣エリアを中心に大町市街地から黒部源流までを包括した広大な山岳エリアを活かし、利用者が濃密で発見に満ちた体験ができるフィールドを構築する。
- 2) 北アルプスにおいての利用と保全のバランスを整える。

・講演の要点（参加者コメント）

- 1) 現在の山小屋経営は赤字である。
今後は会社形式にして運営していくスキームが求められる。
現地の風景は価値がある。
非日常体験ができる。
風景の価値に応じた入山料も考えられる。
- 2) 信濃大町⇒七倉⇒高瀬ダム⇒湯俣温泉（山荘新築） 価値あるエリア
ウルトラライトハイキングの広まりにより、行政も乗り気である。
- 3) 伊藤新道の再生は、自然と調和した内容としている。沢歩き経験者以上か、ガイド付きのグレードとする。今後湯俣温泉（山荘）の人气が高まりそう。



伊藤新道復活プロジェクト

新しい伊藤新道のコンセプト

時がたち、2022年現在、アウトドアアクティビティの多様化、人々が自然に求める精神性もレジャー志向からより密着の深い自然体験へとシフトしてきています。伊藤新道の復活においては、その特異な景観、火山・温泉、原生林等を活かして、より純粋で発見に満ちた自然体験ができるフィールド作りと、同時に利用者全員で保全できる仕組み作りを目指す

1. 道自体の歴史や自然体験を楽しむトレイル
2. ルートファインディングによるセクションがある
3. 環境インパクトを最小限にするため、工作物の設置を最小限にする
4. 沢歩き経験者以上か、ガイド付きのグレードとする
5. 管理者、利用者、行政全体で保全する

伊藤新道復活プロジェクト

2022年6月	2022年10月	2023年4月	2023年7月	2023年8月
資金調達 CAMPFIRE クラウドファンディング	新第2吊り橋・ 新第3吊り橋 タラップ・棧橋	登山道整備 保開通	避難小屋 建設 茶屋	本開通
2022年5月 湯俣山荘の約35年ぶりの再開に向け、改修工事の開始		2023年1月 湯俣エリアの整備、エコツアーの開始		

・その他

9月25日の日経新聞にも大きく取り上げられていましたが、クラウドファンディングの利用など様々な活動を行っておられます。

当日紹介された昔の写真などは、次の本に掲載されているものが多く使われていました。 定本「黒部の山賊」著者：伊藤正一（山と溪谷社）

2. 第18回 全国登山研究集会に参加して

田中康男

記念講演会で 三俣山荘の支配人伊藤圭さん
湯俣山荘から三俣山荘への伊藤新道復活の記録、道の中に「ビバークしてみたら」、
「ポイントなどを作る」山に携わっている人ならではのアイデアが印象に残った。

私が参加した 第2分科会 登山道と遭難対策

(事前に読んだが 終わってから読むほうが良かったので 抜粋)

- 1) 遭難事故で通行禁止になった。自然豊かでさまざまな登山技術が学べるルートで登山道整備のありかたと予算 (福岡県)
- 2) 南八甲田登山道 自然保護団体と自負する・・・ 木を切ることはもちろん刈り払いも出来ず、道迷いが
- 3) 下山中の登山道が事故最多の場所
4. 私有地公有地の登山道整備の在り方 便利な YAMAP YamaReco 等の弊害も検討すべきだ (私も使用中整備した所は YAMAP にそれとなく残す事に 日時・位置情報は正確)
- 4) 冬期間でも手軽に歩ける。石巻緑のハイキングロード、みちのく潮風トレイル、整備状況、交流会・協同活動実施、うまくいっている 行ってみたい整備状況
- 5) 香川県徳島県の県境(私有地)地域で通行止め
- 6) 里山の登山道が勝手に増えて行く。草木を無許可で栽培している (佐貫富士)
- 7) 豊橋自然歩道 一部路線廃止し協議会から豊橋市に移管、ボランティア団体の記録をしてパトロールを実施
- 8) 福井県から登る「白山」 簡単に登れる人気ルートで駐車場が不足
- 9) 最後に三俣山荘 伊藤敦子氏からの発言があり。この分科会に参加したみんなに感動した。現場の人の話は聞く物だ！
 - ・登山道の整備費は、宿泊費の中から 50 円充てられている (何も出来ない) でもお金があってもやる人が居ないのも現状
 - ・どう道を整備するとか どこまで枝を切るとか等 決め事はむずかしい。その場その場で対応するしかない
 - ・一般登山道の整備は、登山者のためでなく山らしさを保つため。山をまもる、道をまもる、景色をまもる
 - ・入山料は、現地の景色がデズニーランド並みの価値…と考えると、それに相当した金額設定も・・・

3. 分科会「魅惑のトレイル、その楽しみ方」に参加して

羽鳥健一郎

参加者は、一般参加者と全国連関係者合わせて 22 名でした。

15:30~18:30 に以下の報告があり、その後、質疑応答がありました。報告が多岐に

わたり時間が足りないくらいでした。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| ① 吉備路の山全山縦走大会 | 岡山・倉敷 HC |
| ② 旧街道をたどるシリーズ企画 | 東京・太田 HC |
| ③ 近場のウォーキング・トレイル | 同上 |
| ④ 信越トレイル | 京都・田辺山友会 |
| ⑤ 京都トレイル | 千葉・かがりび山の会 |
| ⑥ 女二人、裏剣に行く | 埼玉・新座山の会/大宮勤労者山岳会 |
| ⑦ ブータン遊牧民の生活と花の回廊トレイル | 東京・石神井山の会 |
| ⑧ スペイン巡礼 | 栃木・野木山の会 |

① は、コロナのため今年中止でしたが、県外からのリピーターもあり来年は同時期に開催予定とのこと。

②、③は、手作りのトレイルです。継続しているのはリーダーの努力と会の結束の固さを感じました。

④、⑤は、私も歩いたコースなので当時と比較しながら聞きました。信越トレイルは昨年、追加された新たなコースの紹介もありました。京都トレイルは数年前の台風で山道が倒木で埋まりました。復旧作業は大変なご苦労があったと思います。

⑥は、経験と力量が無いと行けないコースですが臨場感のある報告でした。

⑦、⑧は、パワーポイントを使いビジュアルな報告でした。海外に行った気分になりました。特に⑧は個人的に関心があったため費用も含めた具体的な話は良かったです。いずれの報告も行ってみたいくなる話が多かったです。

(その他)

伊藤さんの講演は、山小屋経営が瀕死の状況にある中で 10 年後を見据え挑戦する姿勢がひしひしと伝わってくる話でした。全国組織の山の会が連帯して支援体制を作れないものか？山における水とトイレは以前からの大きな課題です。近年の企業の経営理念や経営方針には環境保全、サステナブル、SDG s 等々の言葉が散見されます。

「南アルプスの水」などの商品を出している企業もあります。

全国組織の山の会が連帯して山小屋支援や環境保全のために企業とタイアップした対策が取れないものか？伊藤さんの熱い話を聞きながら、そんなことを感じました。

4. オプション A : 高尾山での読図体験スマホ・アプリ=YAMAP の使い方に参加して

山本久美子

秋晴れの気持ち良い日、全国の労山会員仲間と JR 高尾駅北口からケーブル高尾山駅まで金毘羅台コースを歩きました。予めダウンロード(W i -Fi 環境を推薦)し山中では電池の消耗を防ぐため「機内モード」を設定、紙の地図をメインに要所や分岐で現在確認する事を体験しました。カメラとして写真を撮ると撮影時刻も記録されるので行動記録にもなります。Google レンズで登山道に咲く花を検索して名前を調べました。予備バッテリーの持参、下山時の YAMAP 終了など改めて注意もありました。

紅葉の見頃、人の少ないコースで渡り蝶のアサギマダラを見かけたのは幸運でした。

解散地のケーブル駅周辺は多くの登山者で賑わい高尾山の人気を実感しました。



田中康男

御岳山に YAMAP の使い方講習に行きました。そんな機能もあったのかという発見がありました。ただ講習とはいえ歩きスマホ登山になった。私は歩き始めと終わりに操作するだけ。イザという時、地図が拡大・縮小で見られるのが心強い。

(終了しないと家まで道案内)

以上

参考：伊東圭氏説明の信濃大町アクティビティ MAP (パンフレットのコピー)



2022 事故防止・経験交流集会 実施報告

教育遭難対策委員長 伊東春正（かがりび山の会）

教育遭難対策委員会主催で実施した事故防止・経験交流集会を報告します。

(1) 日程：2022年11月5日（土） 10時～16時30分

(2) 場所：千葉市幕張勤労市民プラザ

(3) 参加者：10会から22名

市川山の会、ふわくハイキングサークル、ちば山の会、茂原道標山の会、
かがりび山の会、船橋勤労者山の会、岳人あびこ、東葛山の会、
千葉こまくさハイキングクラブ、松戸山の会

(4) 実施内容

① 事故報告

今年度の事故は11件とコロナ感染前の件数に戻っている。

転倒事故が6件と相変わらず多く、健脚者でも、疲れていなくても転倒事故は発生しており、注意力、集中力が転倒事故防止のキーであろうと思われる。

② 事例研究

八ヶ岳遭難事故（労山会員が凍死）を取り上げグループ・ディスカッション。

事例に対し、山行リーダーとして、メンバーとして、会としてそれぞれの立場でどうすべきだったのかを話し合った。

③ 「登山リーダーマニュアル（登山リーダーのなすべき仕事とポイント）」の紹介

ちば山の会で作成した資料を紹介した。

実施後のアンケートでは、「リーダーの役割を的確にまとめており、大変参考になった」との感想が多く寄せられた。

④ インターネットで山行計画を共有できるシステム「コンパス」の紹介

会の山行管理ツールとして、コンパスがどこまで使用できるかを評価し報告した。計画書に対する審査・承認ルートがない、同行者の緊急連絡先が共有できない等、既に山行管理を確立している山岳会にとっては、あまり有用ではない評価結果であった。

⑤ 「山筋ゴーゴー体操（ストレッチ編）」の実技

トレーニング・ジムのインストラクターによる指導を受けた。

⑥ フリー・ディスカッション

3つのグループに分かれ、ディスカッションを行った。

□ 事故防止の取組

対応は会ごとに温度差はあるが、結局は山行計画書の作成・提出が重要であるとの結論となった。

□クライミング、沢登りのレベルアップ方法

クライミングやバリエーションコースをやってみたいという希望が増えているが、各会での指導者層が薄くなってきており、県連や全国連の講習会が期待されている。

□高齢者登山で注意すること、心がけていること

体力維持のために行っていること、健康面で努力・注意している点、登山について心掛けている点について話し合った。

(5)実施後の参加者の感想・意見

- ・登山事故は67人に一人の割合ということは、自分が事故にあう可能性がかなり高いということになる。登山における事故割合が交通事故の4倍のリスクであることはもっと知られても良い。
- ・事件事例研究で取り上げた労山事件事例は、今年の1月の遭難死亡例ということでリアルな状況に背筋が凍りました。
- ・「山筋ゴーゴ一体操(ストレッチ編)」の実技は、専門家から解説を受けることができ、非常に参考になった。
- ・フリー・ディスカッションは、他会の取り組みの話が聞けて参考になった。

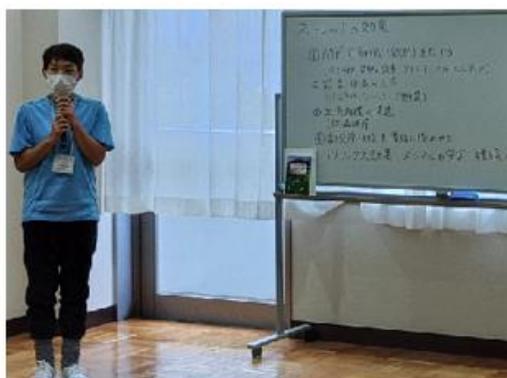
運営面に関して

- ・今回もテーマが盛りだくさんで、消化不良気味の印象をぬぐいきれません。
- ・事前の資料配布が直接参加者宛てではなかったため、資料が届いていない参加者がいた。

などの感想・意見が寄せられました。次回開催の参考とさせていただきます。



開会挨拶



山筋ゴーゴ一体操(ストレッチ編)

以上

「所属会として、どうしたら良いのだろうか？」
「自分がその場にいた場合、どのような判断・行動をすべきなのだろうか…？」
「他の会や参加者は、このテーマをどのように考えているのだろうか…？」
「これは、例会や実際の山行などで、会員に広く知らせた方が絶対に良いな…」
などを知り、感じ、考え、討論をする貴重な交流集会でした。多くの皆さんと意見交換をし、日ごろの活動に反映させていきたいです。是非来年も…。(編集子)

オンライン集会参加で感じたこと 3 題

東葛山の会 安彦秀夫

1) 2022 年 第 21 回全国登山者自然保護集会

日 時：2022 年 11 月 12 日（土）13：00～13 日（日）12：00

テーマ：気候変動対策の視点から、自然エネルギーをめぐる情勢と

世界と日本に求められる政策転換と展望

基調講演：世界と日本の再生可能エネルギーの
最新動向と今後の課題

（講師）和田 武 氏

（元環境学会会長、和歌山大学客員教授、
自然エネルギー市民の会代表）

会 場：日本勤労者山岳連盟事務所

参加者：36 名（会場：16 名、オンライン：20 名）（事務局発表による）

千葉県連関連（会場）：山本尚徳（全国理事）

（オンライン）：野田久生、菅井修、山本久美子、安彦秀夫（敬称略）

日本勤労者山岳連盟 2022.11.12

世界と日本の再生可能エネルギーの 最新動向と今後の課題

1. 「待ったなし」の気候危機
2. 再生可能エネルギー中心社会を目指す世界
3. 日本のエネルギー動向、政策と問題点、課題
4. 市民・地域主導で原発ゼロ、再エネ100%の持続可能な社会へ

和田 武

（和歌山大学客員教授、自然エネルギー市民の会代表、元・日本環境学会会長）

11 月 26 日（土）開催の『関東ブロック自然保護集会』の予備知識を得ようと考え、オンラインで参加しました。

早々に 10 月 22 日（土）に Web で参加申込みをし、『参加申込みありがとうございました…』の返信があり、予稿集や URL の配信を待つのみでしたが、開催直前になっても、何の連絡もありませんでした。

11 月 9 日（水）に問合せをし、やっと『URL』が送られてきました。でも、それ以外のことは何一つコメントがありませんでした。詳細を確認するため問合せをしても、適切な返信はありませんでした。予稿集もない状況で参加したので、「〇〇ページを見てください」と言われてもチンプンカンプン。各報告を理解する上で苦労しました。

集会後に届いた予稿集を見てびっくり！『参加者名簿』に私の名前はありませんでした。これでは、『URL』が届かないのも当然ですね。

なぜこのようなことになったのか…を確認しましたが、残念ながら納得のいく返信が届くまでに相当の日数がかかりました。この間のちぐはぐな対応に、不満と不信感が募るばかりでした。

誰しも間違い・不手際などにはあります。でも、その後の対応が適切かどうかで、印象がガラリと変わります。自戒も込めて敢えて書きました。

基調講演後、参加した各地方連盟から『風力発電』（4 件）、『山での携帯トイレ』、そして 2 日目に、『ライチョウ目撃情報』、『リニア新幹線』、『北陸新幹線京都延伸』、『自然保護全般の取組み』が報告され、質疑応答がありました。

事前に予稿集があれば、もっと理解が進んだのでは…と思い、残念でなりません。

2) 千葉県連第3回オンライン講習会

日時：2022年11月24日（木）19：00～20：30

テーマ：『ココヘリ』の紹介

講師：AUTHENTIC JAPAN 株式会社 八木澤 美好 専務、大峰 菜奈子 氏

参加者：16名（講師、事務局含む）（申込者2名が不参加でした）

ココヘリの概要（入会方法、会費、使用上の注意点など）や、実際にあった遭難事故での『ココヘリ』の運用状況などを八木澤専務より、詳細に亙り説明がありました。

『労山基金』と『ココヘリ』の関連性・運用範囲などについても質問に答える形で説明がありました。私としては、各々の特徴や今後再検討してほしい事項などについて、より分かり易い資料が是非とも欲しい…と強く感じました。



3) 関東ブロック自然保護集会（主管:千葉県連）

日時：2022年11月26日（木）14：00～18：00

テーマ：各地方連盟からの自然保護活動報告と今後の方針

参加者：23名（千葉県外・全国理事：11名、千葉県内：12名）

参加者の紹介後、各地方連盟から予め提出済みのレポートを画面共有しながら要点を絞って報告があり、休憩後、質疑応答・討論に移りました。

正式な報告は、書記担当からあると思いますので、レポート以外の質疑応答の場で話題になった中で、私が最も気になったことを書きます。

それは、『筑波山の踏み跡全面通行禁止&女体山山頂での食事禁止』です。詳細は不明ですが、「遂に来るところまで来たか…」という残念な印象です。

かなり前に、男体山頂付近を周遊する『筑波山自然研究路』の西端付近にある岩場で知り合った人に、ハイキング地図等に掲載されていない多くのルートがあることを教わり、その後は毎月通い、『南面・東面・西面』の殆どの踏み跡を歩き回りました。その中で最も好きだった『V字谷コース』は、わざわざ雨の降った翌日などに歩きました。しかし、突然、殆どの踏み跡が通行禁止になり、暫く遠ざかっていました。

その後、北面にも同様に多くの踏み跡があることを知り、この数年は時々歩いていました。特に、『男の川』や『女の川』のニリンソウやカタクリの時季が好きでした。また、護摩壇コースも好きでしたね。これらの道（踏み跡）も全て通行禁止になったようです。なぜ禁止になったのかなどの詳細情報を収集したいと思っています。

山歩きが自然破壊に繋がることを理解し、如何にダメージを少なくして、山・自然を楽しむかを考え、今後の登山・自然保護活動を展開していく必要性を感じました。

(2022/11/29/Tue.)

2022 オンライン講習会開催のお知らせ

事務局 教育遭難対策委員会
(担当) 伊東春正 (かがりび山の会)
メール : itou2385@yahoo.co.jp

昨年 2021 年につづき、今年も『オンライン講習会』を 4 回開催いたします。
『テーマ』、『日程』及び『講師』は、役員会と理事会で次のように決まりました。
約 1 時間の講演の後、約 30 分間の質問の時間を取っています。

<第 1 回> 終了 (資料は県連ホームページに掲載中) 参加者 19 名

テーマ : 労山基金を正しく理解し、上手に活用しよう
- 他の山岳保険との比較に見る優位性 -
日 程 : 9 月 29 日(木)19:00~20:30
講 師 : 鶴田 秀雄 氏 (ちば山の会)

<第 2 回> 終了 (資料は県連ホームページに掲載中) 参加者 15 名

テーマ : 海外委員会より『ネパール・ピサンピーク』登山報告
日 程 : 10 月 27 日(木)19:00~20:30
講 師 : 酒井 荘多 氏 (船橋勤労者山の会)

<第 3 回> 終了 (資料は県連ホームページに近日中に掲載予定) 参加者 16 名

テーマ : ココヘリの紹介
日 程 : 11 月 24 日(木)19:00~20:30
講 師 : AUTHENTIC JAPAN 社 専務取締役 八木澤美好 氏

<第 4 回> 最終回

テーマ : 著書「一生、山に登るための体づくり」の講演
演 題 : 『山には 90 歳までは登りますよね!』
日 程 : 12 月 22 日(木)19:00~20:30
講 師 : 石田 良恵 先生

(予告) 来年 2023 年 2 月に、続編として『実技講習会』の開催を予定しています。

後日、『開催案内』と『参加申込書』などを、各会代表者及び県連理事を経由してメール配信します。担当へ直接メールで申し込んでください。
尚、オンライン講習会は、Zoom で行います。

開催日間近になりましたら、参加申込者に『Zoom 講習会招待メール (URL 記載)』を配信します。

記載されている URL をクリックするだけで講習会にアクセスできます。

多くの参加をお待ちしています。

第4回オンライン講習会 開催案内

12月22日(木)

午後7時～8時30分

山には90歳までは
登りますよね!

講師：石田良恵先生

<講演内容>

1. 加齢に伴う身体の変化
2. 筋肉量の減少とその部位
3. 速筋繊維について
4. 筋肉はタンパク質から
5. 筋肉をつけるためには
6. スケソウダラからのたんぱく質効果
7. 生きる力は筋肉

来年2月19日(日)
続編『実技』講習会を
開催予定!



参加申込者には、事前に資料を配布します。

スケソウダラの速筋タンパクは、卵と同等以上の質を持っている!



12月上旬、参加申込書・要項を各会代表者・理事を經由して配信します。

第 37 回 2023 房総ロングハイキング 開催案内

(JR 東金駅 → JR^{とけ}土気駅)

ハイキング委員会

2023 年 1 月 28 日(土) 現地集合・現地解散
(日帰り、雨天中止)

集合：JR 東金駅改札口出た所 午前 8 時 10 分

- ◆ コース：首都圏自然歩道(関東ふれあいの道)千葉県No.8(東金駅～土気駅)
- ◆ 歩 行：6 時間チョット(休憩含む)(下見では、時間がかかるロングでした)
- ◆ 参加者：各会 5～6 名程度(各会で行動)(間隔開けて行動、マスク必携)
- ◆ 移 動：電車利用
- ◆ 費 用：交通費 約 1,012 円(千葉駅から往復)

<参考> 当日朝の電車時刻表

JR 千葉駅 7:33 発(⑤番線ホーム、外房線 成東行き)⇒JR 東金駅 8:09 着

<コース> (関東ふれあいの道)

徳川家康ゆかりの地 鷹狩場と東金御殿、御成り街道など作った所
東金駅 8:15 出発 (集合状況によっては、若干時間変更あり)

- ⇒ 八鶴湖・最福寺 8:20
- ⇒ 日吉神社 9:00 (杉並木が綺麗)
- ⇒ コンビニ 9:35 (直角に曲がる。近くに八幡神社)
- ⇒ 雄蛇ヶ池 10:10 (公衆トイレあり)
- ⇒ 小西 正法寺 11:00 (葵の紋。たたずまいが良い。公衆トイレあり)
- ⇒ 越谷 11:50 (迷いやすい場所。シンプルに歩く予定)

<エスケープ>⇒大網駅 (途中にコンビニ・飲食店あり。約 40 分で着く)

⇒ ^{あがた} 縣神社 13:00 (余裕があれば お参りしたい)

⇒ 土気駅 14:20 (完歩おめでとうございます! 解散)

<帰りの電車> 土気発 千葉行き 14:45 15:04 15:34 15:44 16:04 16:26

問合せ・参加申込先：ハイキング委員会 田中康男

TEL:090-8331-6858 メール dzb05434@nifty.ne.jp

申込期限：2023 年 1 月 10 日(火)

各会で纏めて申込んでください。

尚、当日の天候や道路事情などによりコースの変更もあります。

地図は、委員会で準備しますが、インターネットでダウンロード出来ます。

月刊誌：登山時報は何処へ行く…？

『登山時報』2022年12月号(No.574)p.18より全文を掲載(コピー&ペースト)
編集部からのお知らせ

(注)編集子が赤枠・赤点線などを付けました！

来年度から「月刊誌 登山時報」は「季刊誌 登山時報」として再スタートします。

これに伴い、編集部から以下の点についてご案内いたします。

来年 2023 年です！

《「季刊誌 登山時報」の発行と閲覧について》

「季刊誌 登山時報」は年4回(春号:3月25日、夏号:6月25日、秋号:9月25日、冬号:12月25日)発行です。A4判で、これまでの登山時報より一回り大きくなります。初刊は2022年3月25日・春号の予定です。労山の機関誌として各地方連盟に、PDFファイルで配付し、各会・クラブへは地方連盟から配付予定です。また、発行日に全国連盟の公式HPでも無料公開予定です。会員外の方も自由に閲覧頂けます。

《紙媒体での発行・購読について》

地方連盟および各会に無料で1部郵送します。なお、名誉会員などへの無料配付は廃止します。

個人で紙媒体での購読を希望される場合、年間購読料1,000円(税・送料込)を申し受けます。

団体購読の取扱は廃止し、労山会員・会員外を問わず個人購読の扱いになります。

【申込方法】

全国連盟HPで専用の申込フォームを公開予定です。紙媒体での購読を希望される方は、個人でお申し込み下さい。労山会員の方は、会・クラブ毎に購読希望者をまとめて全国連盟に直接送付、お申し込み頂けますが、この場合も個人購読の扱いになります。

《「月刊誌 登山時報」購読料の返金、寄付について》

2022年12月号より先のご購読料を前納された団体・個人の方を対象に、返金を行います。

「月刊 登山時報」のご購読料残金は「季刊 登山時報」へ引継げません。季刊でも紙媒体で購読を希望される方は、お手数ですが新たにお申し込み下さい。

前納金の寄付も受付いたします。申し出られる場合は、購読者番号と併せて全国連盟事務局へメールまたはFAXでご連絡下さい。

《「季刊誌 登山時報」有料購読申込者へのプレゼント》

HPの専用購読申込フォームから「季刊誌 登山時報」の有料購読を申込された先着20名の方に、本誌連載中の筑井孝子さん著『筑井先生のスケッチブック別冊 筑井先生と水彩画を描こう』をプレゼントします。

《「季刊誌 登山時報」春号のトピック》

- ・「第18回全国登山研究集会」講演、分科会
- ・「第35回下期全国評議会」報告
- ・「春山 GW 特集(仮)」
- ・「登山と技術 ITと登山」

月刊誌:『労山ジャーナル(仮称)』についても、未だに確固たる情報が公開されていません。季刊誌『登山時報』の配信方法等と合わせて、千葉県連としての方針を、役員会・理事会で協議してお知らせします。(編集子)

県連活動予定表

12月			1月		
日付	曜日	県連活動予定	日付	曜日	県連活動予定
1	木	役員会 (ZOOM) 14:00~	1	日	元日
2	金		2	月	振替休日
3	土		3	火	
4	日		4	水	
5	月		5	木	役員会 (ZOOM) 14:00~
6	火		6	金	
7	水		7	土	
8	木	海外委員会 (ZOOM) 19:00~	8	日	
9	金		9	月	成人の日
10	土		10	火	
11	日		11	水	
12	月		12	木	
13	火		13	金	
14	水		14	土	
15	木	理事会 (船橋市西部公民館) 19:00~	15	日	
16	金	☞(カレンダー代金集金)	16	月	
17	土		17	火	
18	日		18	水	
19	月		19	木	理事会 19:00~
20	火		20	金	
21	水		21	土	
22	木	第4回 オンライン講習会19:00~	22	日	
23	金		23	月	教遭委員会 (ZOOM)
24	土		24	火	
25	日		25	水	
26	月	教遭委員会 (ZOOM)	26	木	
27	火		27	金	
28	水		28	土	房総ロングハイキング
29	木		29	日	
30	金		30	月	
31	土		31	火	

事故発生時の連絡先

各委員会は、25日までに予定を連絡ください。

◎事故一報は事故発生後一か月以内に！

◎全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはファクスで！

全国連盟事務局

県連教育遭難対策委員会

メール： jwaf@jwaf.jp

メール： itou2385@yahoo.co.jp (伊東)

ファクス： 03-3235-4324

メールのみとします

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-481509

(ゆうちょ銀行 〇一九店 口座番号0481509)

千葉県勤労者山岳連盟

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 広木国昭

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： <https://www.cwaf.jp>

事務所に常駐者はいません